

令和6年度 稲敷市立沼里小学校グランドデザイン

茨城県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
- 郷土を愛し 協力しあう心を育てる

学校教育目標

未来に夢をもち、心豊かに
たくましく生きる児童の育成

稲敷市教育振興計画<第3期>

基本理念

『郷土を愛し、未来にはばたく しなやかな人づくり』

基本目標

- 1 未来を担ういなしきっ子の育成
- 2 いなしきっ子が学ぶ質の高い教育環境の充実

目指す学校の姿

- 一人一人の居場所がある学校
- 児童の良さや可能性が認められ、伸ばしていける学校
- 安心して学べる魅力ある学校
- 地域から信頼される学校

目指す児童の姿

- 考える子ども
- 心豊かな子ども
- ねばり強い子ども

目指す教師の姿

- 情熱あふれる教師
- 一人一人の子どもを大切にする教師
- 健康で、明るい教師
- 自ら学び続ける教師

学校経営の方針 自分の子や孫を通わせたい学校を創る

「3つの達人」の育成 <ひらめき名人・やさしさ案内人・がんばりの鉄人>

- 児童の自己有用感を高め、他を思いやる心と温かい人間関係の育成を図ります
- 個に応じた支援体制を充実し、自立と社会参加をめざす特別支援教育を進めます
- 問いの発見と試行錯誤に重点を置く探究的な学習を目指し、授業改善に取り組みます
- ICTの効果的な活用により、学習意欲の向上と個別最適な学びの実現を図ります
- 健康安全教育と運動の日常化を通して、望ましい生活習慣づくりと体力の向上をめざします
- 感染症の予防に努めるとともに、学校内外における安全な生活とけがの防止に努めます
- 働き方改革推進委員会を中心とした教職員の働き方改革を推進し、勤務時間外の在校等時間の縮減に努めます

* 月の超過在校等時間が80時間以上の職員0人、45時間以上の月が6月より多い職員0人

組織目標

支持的な学級集団を育み、一人一人の自己有用感を高めることで、学校生活の質を高めるとともに、学習意欲の向上を図る

知のプロジェクト

- ①基礎基本の定着
 - わかる授業の展開
 - * 授業が分かれると回答する児童85%以上
 - 少人数指導、TTによるきめ細やかな指導
 - * 全学年の算数で実施
 - 個に応じた補充的学習、学び直しの学習
 - 学習の約束の徹底
 - 読書活動の推進
 - * みんなに勧めたい1冊の年間50冊達成児童の割合90%以上
 - ノート指導の充実
- ②学習意欲を高める工夫
 - 学習課題の工夫と明示
 - 日常生活に結びつけた学習内容の工夫
 - 理科特別講師を活用した出前授業、外部講師の活用
 - 一人一人のよさを伸ばす評価の工夫
- ③指導方法の工夫改善
 - 探究的な学習を目指した授業改善
 - ユニバーサルデザインによる授業展開
 - 言語活動を中核とした授業づくり（授業スタイル）
 - * 進んで意見を発表していると回答する児童70%以上
 - めあて、見通し、振り返りの場の設定
 - * いつも学習の振り返りをしている児童85%以上
 - 学習者用デジタル教科書等の有効活用
 - 沼里小授業スタイルの実践
- ④家庭や地域との連携
 - 家庭学習の習慣化 学年×10分+10分
 - 地域の教育資源の活用

徳のプロジェクト

- ①基本的な生活習慣の確立
 - 心のこもったあいさつの励行
 - * 進んであいさつしていると回答した児童85%以上
 - 時間を大切にする指導の徹底
 - 黙働清掃の実践
- ②自己有用感を育てる学級経営の充実
 - 全ての児童に居場所と役割を
 - 全ての児童に成功体験を
 - 全ての児童に他者の成功体験から「自分にもできそうだ」という思いを
 - 全ての児童に他者から認められる体験を
 - * 学校が楽しいと回答する児童85%以上
 - * 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると回答した6年生が85%以上
 - 教育相談の充実（定期6.11.2月.随時）
 - 学校生活アンケートとQ-U調査の活用
 - * 学校満足群児童が70%以上
 - 人権教育の推進
 - 性的マイノリティへの理解・実践
- ③道徳教育・特別活動の充実
 - 本音で語り合い、自分の考えを深められる授業の工夫
 - 道徳コーナーの充実
 - 係活動の活性化
 - 児童主体の集会活動・縦割り活動の実施
- ④体験活動の充実
 - 勤労・奉仕活動の充実
 - 地域の特性を生かした自然体験、社会体験等の活動の充実
 - 縦割り班活動の工夫

体のプロジェクト

- ①教科体育の工夫
 - 運動量を確保した体育授業の工夫
 - (3分間走やサーキットトレーニング)
 - 6年間使用の体育カードの活用
 - (目標の設定と振り返り)
 - 達成感・成就感を味わわせる工夫
 - 体力テストの活用
 - * 体力テストA+Bの割合が60%以上
- ②運動の日常化
 - 外遊び、業間運動の工夫
 - 学級遊びの日の実施
 - 縦割り班遊びの実施
- ③健康教育の充実
 - 早寝・早起き・朝ごはんの習慣づくり
 - * 毎朝朝食を食べている児童90%以上
 - 保健指導の充実
 - (うがい・手洗い・歯磨き)
 - めまっこ保健安全タイムにおける保健委員児童によるミニ保健指導
 - 食に関する指導の充実
 - 家庭と連携した指導（健康手帳）
- ④地域と一体となった安全教育
 - こ幼保小中合同引き渡し訓練の実施
 - 交通安全教室・防犯教室の計画的実施
 - 地域防災会議による防災防犯体制づくり
 - 集団下校と安全パトロールの実施

特別支援教育の充実

- ▶ 特別な教育的支援を必要とする児童が、自立と社会参加ができるよう、一人一人の「生きる力」を培う教育の充実に努めます。
 - ユニバーサルデザインによる授業づくりの研修の推進
 - 個別の教育的ニーズに応じた支援と指導の充実
(個別の教育支援計画・個別の指導計画の改善)
 - 美浦特別支援学校地域支援センターや市教育センターの巡回相談に基づく指導改善
 - 特別支援教育コーディネーターを中心としたチームサポートの推進
 - 交流、共同学習の充実
 - 通常学級に在籍する配慮を要する子どもへの支援体制の充実
(通級指導教室、日本語指導教室の設置)

こ幼保小中の円滑な接続を推進する教育活動

- ▶ 互いの教育を見通し、連続性、一貫性のある教育を行うことに努めます。
 - こども園・保育園・幼稚園と小学校との連携
 - 年長児による1年生との小学校での学習体験
 - 中学校区で統一したスタートカリキュラムの工夫・改善
 - こ幼保小合同研修会の実施
 - 中学校と小学校との連携
 - 6年生の中学校体験入学
 - 小学校と中学校との情報交換

教職員の資質向上と働き方改革の推進

- ▶ 児童一人一人の望ましい成長・発達のために、教職員一人一人の資質能力の向上に努めます。
 - 一人一研究授業公開、授業参観
 - 学習者用デジタル教科書を活用した授業の展開
 - 教員評価による人材育成
 - 学力向上に関する校内研修の充実
 - 学校コンプライアンス委員会の充実(心に響く研修)
 - 「特別の教科 道徳」における「考え、議論する道徳」への質的転換
 - 校内研修等による教員の英語力及び指導力の向上
- ▶ 教職員の働き方改革を推進し、教員の健康の保持増進に努めます。
 - * 月の超過在校等時間が80時間以上の職員0人、45時間以上の月が6月より多い職員0人

地域とともにある学校づくり

- ▶ 学校と家庭・地域が連携、協働し、「地域とともにある学校」をめざします。
 - 学校年長児による1年生との小学校での学習体験
 - 学校運営協議会、民生委員・主任児童委員との懇談会の実施
 - コミュニティスクールへの理解・周知
 - 地域人材の積極的活用(防犯教室・ポニー体験・トランポリン教室・薬物乱用防止・お薬教室・いのちの教室等)
 - 授業や学校行事の積極的な公開(各学年道徳の授業公開を年1回以上)
 - 教育活動の積極的情報発信(HP、トピックス、たより、メール配信の充実)
 - 学校評価の充実(教育活動アンケート年2回実施と分析活用及び結果の公開)

児童の人権を大切にする学校づくり

- ▶ 教科等指導、生徒指導、学級経営など、その活動の全体を通じて、人権尊重の精神に立った学校づくりを進めます。
 - 厳しさと思いやりを兼ね備えた支援のため、児童の思いや考えを十分理解した上で児童に寄り添った支援を実践
 - 児童が心身共に成長過程にあることに十分に留意し、それぞれの発達段階や実態に即した指導・助言の実施
 - 外国人児童の増加に伴う日本語指導を必要とする外国人児童に対する学校生活への適応指導の改善充実
 - 多様な性的指向・性自認に関する教職員の理解促進。性的マイノリティーに対する差別的言動への指導
 - いじめや不登校等の問題への適切な対応と予防策の工夫改善
 - こども基本法の理念(生命、生存及び発達に対する権利、子どもの最善の利益、子どもの意見の尊重、差別の禁止)の理解と、4原則に則った教育活動の展開